

三重津海軍所跡の



# すごさのひみつ

みえつかいぐんしょあと

## 三重津海軍所跡ってなに?

三重津海軍所跡は、江戸時代の終わり頃につくられた佐賀藩の洋式海軍の拠点です。洋式海軍の教育や洋式船の修理・建造などを行っていました。日本初の実用蒸気船「凌風丸」もここでつくられました。

三重津海軍所跡は2013年に国の史跡に指定されました。また、2015年には「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産のひとつとして世界遺産に登録されました。

### 三重津海軍所って何がすごいの?

三重津海軍所跡は、次の3つのことがよく分かる遺跡として評価されています。

#### ①江戸時代の終わり頃の海軍の様子がよくわかるから、すごい!

- イギリスの船が長崎港に侵入したフェートン号事件や、アジアで最も大きい国だった清(現在の中国)がイギリスに負けたアヘン戦争で、長崎の警備を担当していた佐賀藩は西洋の強さに危機感を感じた。
- 佐賀藩は警備を強化するため、鉄製の大砲づくりに取り組み、洋式船を取り入れて海軍を立ち上げた。
- 佐賀藩は、「船屋」という船を管理する施設があった「三重津」で海軍教育をはじめ、訓練に必要な施設や、洋式船を修理するためのドライドック、洋式船の修理に必要な部品を加工するための製作場をつくった。



「フェートン号図」  
(長崎歴史文化博物館所蔵)

#### ②西洋の技術を、日本の伝統技術で再現していて、すごい!

- 洋式船の修理や、洋式船をつくるのに必要な金属部品の加工に、日本の伝統技術が使われていた。
- 西洋のドライドックは石やレンガでつくられているが、三重津海軍所跡のドライドックは木や土を組み合わせ、伝統的な土木技術を用いて作られていた。



小型二連炉(るつぼ炉)



三重津海軍所跡からは、小型二連炉(るつぼ炉)や、大型のこしき炉の炉壁が発掘されているよ。  
昔ながらの技術を使って金属を加工していたんだね。

\*炉:金属をとかして加工するための設備。  
日本では昔から、るつぼ炉やこしき炉を使っていた。

### ③有明海の干満差を上手に利用していて、すごい!

- 日本一である有明海の干満差を利用して、ドライドックに船を出し入れしていた。
- 佐賀藩内に6か所あった船屋の中で「三重津」に海軍所がつくられたのは、地理的にとても条件がよかつたから。  
→当時の政治の中心だった佐賀城に近く、佐賀藩が警備を担当していた長崎にも行きやすかった。

#### 豆知識

#### ◎有明海の干満差ってそんなにすごいの!?

干満とは、海の水が満ちたり引いたりすることで、その海面の高さの差を干満差といいます。

有明海は干満差が日本一の海で、最大で6メートルもあるといわれています。



かんちょうじ  
干潮時(潮が引いている時)



まんちょうじ  
満潮時(潮が満ちている時)

#### ◎確認しよう!~三重津海軍所跡のすごさのひみつ~

□に当てはまる言葉はなにかな?

#### ①江戸時代の終わり頃の海軍の様子がよくわかるから、すごい!

- ・□□の警備を担当していた佐賀藩は、「西洋の国々が日本にせめてくるのではないか? このままでは日本が危ない!!」と考え、警備を強化することにした。

- ・三重津で洋式船の技術や知識の教育を始め、訓練に必要な施設や、洋式船の修理のための□□□□□□などを整備した。

#### ②西洋の技術を、日本の伝統技術で再現していて、すごい!

- ・三重津海軍所で作られたドライドックや、船の修理に使われた金属部品の加工には、日本の□□技術がたくさん活かされていた。

#### ③有明海の干満差を上手に利用していて、すごい!

- ・三重津海軍所では、有明海の□□□を上手に利用して、ドライドックに船を出し入れした。
- ・三重津は□□□に近く、長崎にも行きやすい場所にあったから海軍所がつくられた。

#### ◎自分が一番すごいと思うのは、どれかな?

・わたしが一番すごいと思うのは\_\_\_\_\_番の

お友達はどんなところが  
すごいと思ったかな?  
意見を聞いてみよう!!



です。